

たのっこ

たのっこの合言葉 2023.10.18 第21号

たくましく

のびのびと

こころゆたかに

文責 福田 康弘



カッターボート体験

自然いっぱい、友だちいっぱい

5年生 3校合同宿泊学習

10月12日(木)から13日(金)にかけて、5年生は波戸岬少年自然の家にて宿泊学習を行いました。

1日目は波戸岬周辺のウォークラリーを行い、午後は野外炊飯でカレーライスを作りました。活動が進むにつれ納所小、入野小の5年生とも仲良くなりました。

カレーライス作りでは、薪をなたで割り、火をおこす係や、食器を準備する係、食材を包丁で切り、調理する係など役割を分担して、どの班もおいしいカレーライスができ、おいしくいただきました。

夜はキャンドルの集いを行い、各学校紹介のクイズを出しました。田野小はまず5人で校歌を歌い、校歌の歌詞にある浜木綿の花や校章の桜、学校に顔を出すネコに関するクイズを出しました。

2日目はカッターボート体験でした。心配された波も穏やかで、子どもたちは2艇に分かれ乗艇しました。左右のオールをそれぞれ2名で動かすのですが、力加減や前後で合わせるのが難しかったようです。今回は天候にも恵まれ、予定していた全ての活動を行うことができ良かったです。子どもたちにとっても、貴重な体験になったと思います。



なたを使っての蒔き割り



火は熱いし、煙は目に染みるし・・・



鍋を磨くのが一番大変でした



おいしかったカレーライス



おかわりもしてお腹いっぱい

素敵な手紙が届きました

佐賀新聞の「みんなの夢」の中で、田野小学校 6 年生の記事が掲載されました。これを見た佐賀県農林水産部畜産課の森課長様より、6 年生の宮崎創士さんと山城悠生さんに手紙が届きました。

宮崎 創士 様

はじめまして。
佐賀県(県庁)の森と申します。

突然の手紙でびっくりされたかと思いますが、私は佐賀県で、農業や林業、漁業で働く方々や、これから農林漁業を始めたいという方々を応援する仕事をしています。

今回、創士さんに手紙を書いたのは、9月4日付の佐賀新聞「みんなの夢」の中に「牛飼いになっていい牛乳をつくりたいです」というあなたの夢をみつけたからです。とてもうれしく、また、とても心強く感じました。

創士さんがこうした牛飼いになりたいと思った理由って何ですか。御家族や知人に酪農家の方がいらっしゃるのでしょうか。

また、創士さんがつくりたい「いい牛乳」がどんなものかということも気になるところです。

佐賀県には、県産牛乳100%で作った「佐賀生乳」というおいしい牛乳があります。県内の酪農家の皆さんが丹精をこめて育てる牛から搾られる逸品です。私はお店で牛乳を買う時はできるだけ「佐賀生乳」を手にとるようにしています。不思議と「佐賀生乳」も冷蔵庫に入れておくと、それ以外の牛乳よりも「なまなま」が早いと感じます。家族のみんなもおいしいのが分かっているみたいですよ(笑)

県内の酪農家は少数精鋭で、お一人お一人が誇りを持って酪農経営に取り組まれています。創士さんには将来ぜひそんな酪農家の一員になってほしいです!!

目指す牛飼いになるには、これからいろいろな勉強や経験を積み重ねる必要がありますが、創士さんならきっと乗り越えられると信じています。創士さんの夢の実現に向け、頑張ってください。応援しています。

令和5年9月29日
佐賀県農林水産部 森 隆幸

山城 悠生 様

はじめまして。
佐賀県(県庁)の森と申します。

突然の手紙でびっくりされたかと思いますが、私は佐賀県で、農業や林業、漁業で働く方々や、これから農林漁業を始めたいという方々を応援する仕事をしています。

今回、悠生さんに手紙を書いたのは、9月4日付の佐賀新聞「みんなの夢」の中に「牛飼いになってランクの高い肉を生産する」というあなたの夢をみつけたからです。とてもうれしく、また、とても心強く感じました。

悠生さんがこうした牛飼いになりたいと思った理由って何ですか。御家族や知人に肉用牛の肥育農家の方がいらっしゃるのでしょうか。

また、悠生さんが生産するランクの高い(牛)肉がどんなものかということも気になるところです。

佐賀県には、肥育農家の皆さんが高い技術力をもって育て上げた「佐賀牛」というブランド肉があります。口の中であげると柔らかくジューシーなお肉で、海外からも高い評価を得ています。高級品なので、いつも食べるというわけにはいきませんが、特別な記念日や贈り物にはもってこいの逸品です。

県内の肥育農家の皆さんは、日々技術の研鑽^{けんさん}に励まれて、誇りを持って肥育経営に取り組まれています。悠生さんには、将来ぜひそんな皆さんの仲間入りと果たし、佐賀牛の生産をリードしてほしいです!!

目指す牛飼いになるには、これからいろいろな勉強や経験を積み重ねる必要がありますが、悠生さんならきっと乗り越えられると信じています。悠生さんの夢の実現に向け、頑張ってください。応援しています。

令和5年9月29日
佐賀県農林水産部 森 隆幸

この手紙を受け取った二人はとても喜んでいました。日本は食料自給率が低い国です。そこで未来に向けて農業、漁業、林業を引き継いでいくための素敵な取組に感心しました。

6 年生の算数 円の面積

10月11日(水)に、6年生の研究授業がありました。今回は算数「円の面積」の発展的な内容の学習で、右の図の色が塗られている部分の面積を求める問題でした。

まずは、この図を見てどのような形が見えるかが大事なポイントです。子どもたちは円(半円)の形に目を付け、細かく分けたり、一部分を移動させてより簡単な図形にしりして面積を求めていました。

自分の考えをグループの友だちに向けて発表し、同じ考えに気づいたり、自分の勘違いに気づいたりして、学び合いを取組いて考えを深めていました。

